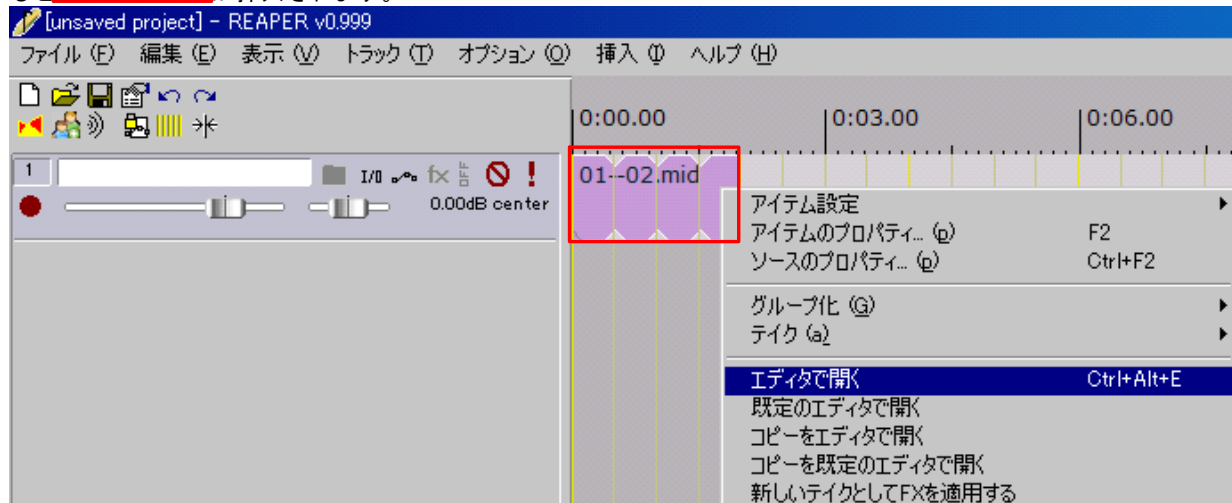


MIDI録音

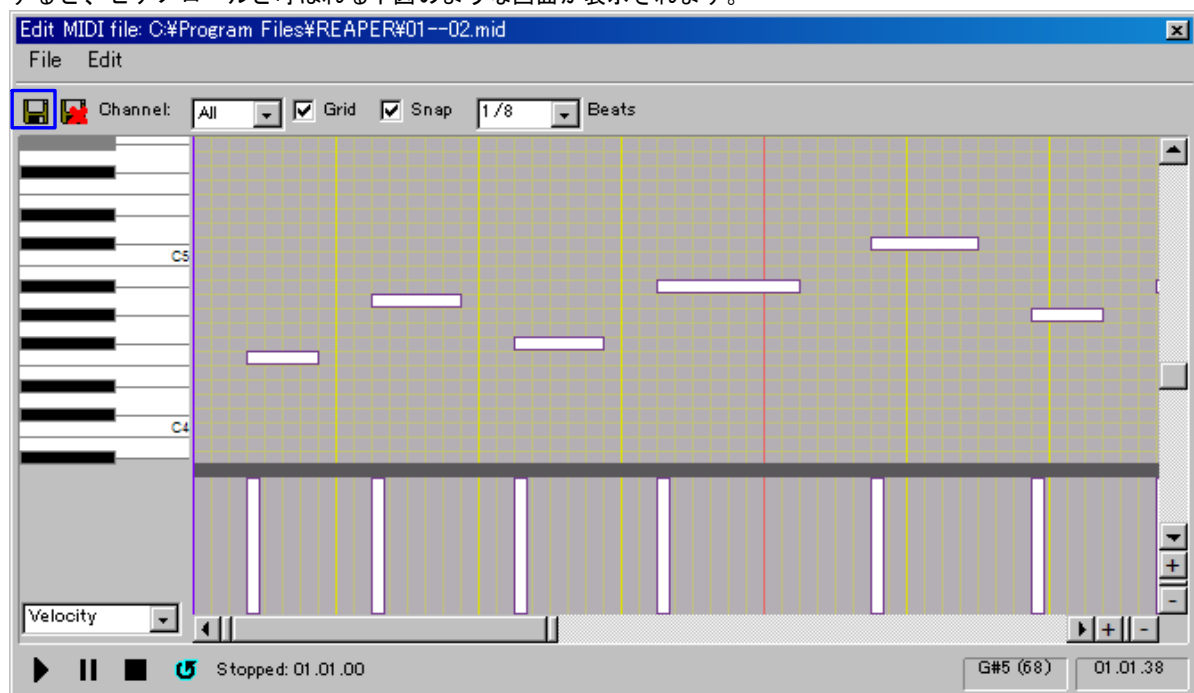
MIDIキーボードなどをお持ちの場合は、MIDIをオーディオと同じように録音することができます。ここでは、MIDIキーボードが無い状態で打ち込み、音を鳴らす方法を勉強します。

MIDIファイルの挿入

MIDIファイルを挿入したいトラックを選択して、メニューバーの"挿入"→"新規MIDIファイル"を選択します。するとMIDIアイテムが挿入されます。



そのMIDIアイテムを右クリックしてエディタで開くを選択してください。すると、ピアノロールと呼ばれる下図のような画面が表示されます。

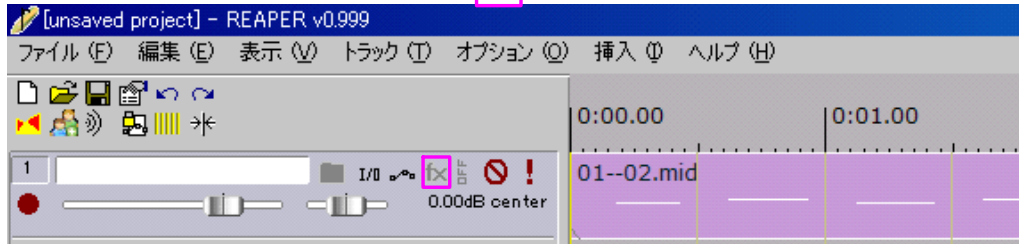


これは、縦軸が音程、横軸が時間になっています。音を鳴らしたい音程、時間に当たるところにドラッグ&ドロップで音符を置いていきます。音符を置きおわったら をクリックして保存した後にこのウィンドウを閉じてください。

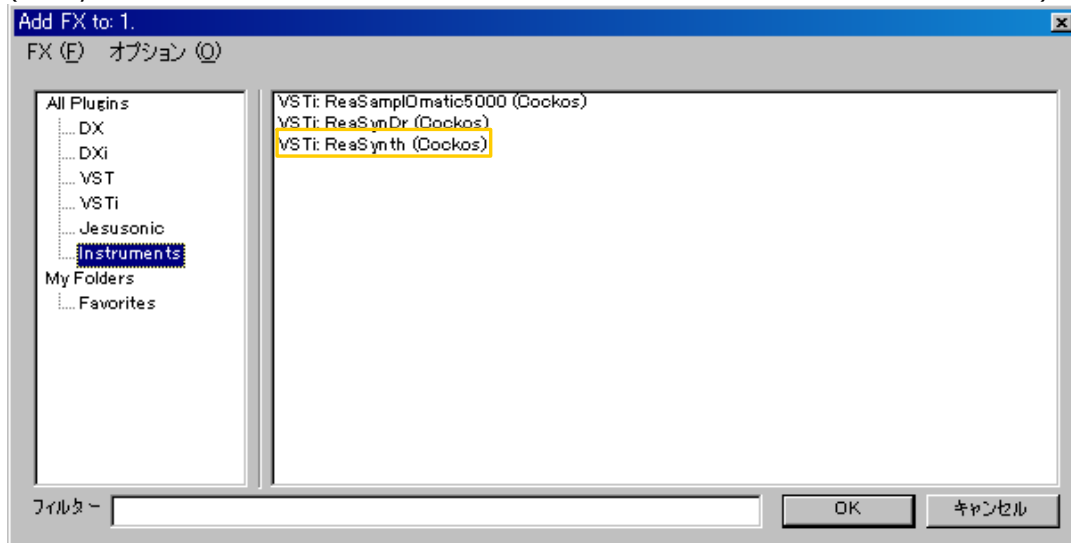
インストゥルメンツの設定

上ではMIDIで演奏データを入力しました。ですがそれだけでは音は鳴りません。MIDIはただの楽譜のようなものなので、楽譜を楽器(インストゥルメンツ)に流し込んでやらないと音は出ません。では早速流し込んでみましょう。やり方はエフェクトの設定とほとんど同じです。

まず、MIDIデータが入っているトラックの"fx"をクリックします。



次に表示されるウィンドウで "Instruments" → "VSTi: ReaSynth (Cockos)" を選択し "OK" を押してください。
(ReaSynthとはREAPERにはじめから入っているシンプルなソフトウェアシンセサイザーです。)



必要なのはこれだけです。これでトランスポートの再生ボタンを押すと音が鳴ります。
インストゥルメントもVSTiとして無料のものがインターネット上で公開されていますので、いろいろダウンロードして試してみてください。当サイトのVST紹介コーナーでも紹介していますので、利用してみてください。